



士別ロータリークラブ会報

創立 1960・3・24 RI第 2500 地区

Vol. 11 No. 2828

2023-2024年度国際ロータリーのテーマ

2023-2024年度R I 会長 ゴードンR.マッキナリー

2023-2024年度R I 第2500地区テーマ

ガバナー鶴見誠一郎

今こそ変わる勇気を！さあ、一歩前へ

2023-2024年度士別ロータリースローガン

【勇気ある行動で友情と奉仕の実践へ】

～ Let's begin ～



世界に希望を生み出そう

- 会 長／菊地 昭通
- 副会長／山下 卓己
- 幹 事／福島 和秀
- 例会場／士別グランドホテル
- 例会日／毎週月曜日 12:10～13:00

2500地区ホームページ <http://rid2500.jp/>

士別RC <http://www.douhoku.jp/sibeturc/>

R I ホームページ <https://www.rotary.org>

第2917回例会 2023年 10月 2日

今日のプログラム

・普通例会・誕生祝・理事会

前回（9月25日）の記録・夜間例会（移動例会 ペコラ）

司 会 志村孝幸 会場監督
 斉 唱
 本日の出席 会員 43人中 出席者 43人 出席率 100%
 本日の欠席

メイクアップ
 ビジター
 ゲスト

ニコニコBOX

累計 134,000円

例会予定

■ 10月例会日【経済と地域社会の発展・米山月間】

- 10月 2日（月） 普通例会・理事会
- 10月 9日（月） 休会（スポーツの日）
- 10月16日（月） 普通例会
- 10月23日（月） 普通例会
- 10月30日（月） 夜間例会

■ 11月例会日【ロータリー財団月間】

- 11月 6日（月） 普通例会・理事会
- 11月 13日（月） 普通例会
- 11月 20日（月） 普通例会
- 11月 27日（月） 夜間例会

■会務報告.....菊地 昭通会長

本日は、4年ぶりの移動例会に際しまして多数の会員の皆様のご出席いただき大変うれしく思います。

ロータリーの最大の目的は、会員相互の親睦と友情で始まります。

そして、社会的な肩書や職種を超えた幅広い年代の仲間たちと会話を通しながら楽しく学べる組織でもあります。

今夕は、限られた時間ではありますが、飲食を共にして楽しい時間を過ごしていただきたいと思います。

さて10月8日(日)は、紋別市で地区大会が開催されます。

行き帰りの道中、交通事故等に気をつけて参加していただきたいと思います。

最後になりますが、朝夕めっきり涼しく感じられ日中との寒暖の差が激しい季節となり秋本番を迎えています。皆様におかれましては、健康管理に十分に気をつけて生業に励んで頂きたいと思います。

■幹事報告..... 福島 和秀 幹事

1. 9月24日土別わんぱくフェスティバル開会式に菊地会長が出席し協賛金を贈呈し居ました。お疲れさまでした。
2. ロータリー財団 補助金管理セミナー 開催の案内が届いております。紋別の地にて10月22日開催となっております。次年度に補助金を活用した事業を行う際には1名以上の出席が必要となります。参加費は6,000円となっております。ご希望の方は福島までご連絡ください。
3. 根室西ロータリークラブより創立50周年記念誌が届いております。閲覧ファイルに閉じておきますのでご覧ください。
4. 10月2日の例会終了後理事会を開催しますのでよろしくお願いいたします。
5. 9月23日午後11時11分に大野裕一郎会員のご母堂であります大野ユキ殿がご逝去されました。通夜は9月28日16:30～、告別式は29日9:00～なかむら斎場さくらホールにて行われますことを報告致します。

■ロータリークラブにおける平和構築■

今日、紛争、暴力、弾劾、人権侵害によって家を追われた人の数は7000万人。その半数が子どもです。

このような状況を、私たちは絶対に受け入れません。ロータリーは、異文化交流を通じて相互理解の心を育て、紛争解決のスキルを備えた人材の育成を通じて平和な世界づくりを促進しています。

人道的組織として、平和はロータリーの使命の礎となるものです。私たちは、地域社会での平和構築のために人びとが協力すれば、その変化が世界的な影響を生むと信じています。

ロータリー会員は、奉仕プロジェクトや平和フェロー・奨学生への支援を通じ、貧困、差別、民族間の衝突、教育機会の欠如、リソースの不平等な配分といった紛争の根底にある問題に取り組むために行動を起こしています。

ロータリーは、新たな課題に 대응するために平和構築へのコミットメントを高めています。ロータリーが未来にインパクトをもたらすには何ができるか、持続可能な変化を目指すロータリーのビジョン声明をどのように実現できるか、といった課題に取り組むべく、ロータリーは「平和構築」の定義をさらに広げ、より多くの人が平和構築に参加できる方法を見つけることで、団結と幅広い参画による平和という概念に基づくアプローチを取っています。

ロータリーは、平和が可能となる環境を築いています。平和は「人」から始まると考えるロータリーは、平和フェローシップ(奨学金)を通じて、世界平和と開発の担い手となる人材を育て、平和推進者の世界的ネットワークを築いています。

毎年、ロータリー平和センター提携大学で学ぶフェローが世界中から選ばれ、ロータリーからフェローシップ(全額支給の奨学金)が授与されます。フェローシップには、授業料・入学金の全額、滞在費(宿舍・食費)、往復航空券、インターンシップと実地研修の費用が含まれます。

2002年に創設されて以来、ロータリー平和センターは1,600人以上のフェローを輩出してきました。これらのフェローは現在、140カ国以上で活躍し、政府、NGO、教育、研究機関、平和維持および法執行機関のほか、国連や世界銀行といった国際機関でリーダーシップを発揮しています。